

## 生活科学習指導案

2年4組 23名 指導者 田代宗輔

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 授業で活用した「思考スキル（関連付ける）」や「見える図」は、思考力・判断力・表現力を育成するために効果的であったか。
- 協同的な「学び合い」の中で気付きを伝え合う活動は、思考力・判断力・表現力を育成するために効果的であったか。

## 1 単元 出かけよう 田上の町へ1

## 2 目標

身近な地域に出かけ、地域の人々とかかわりを持ち、様々な場所やものを調べたり、利用したりして、それらが自分たちの生活を支えていることや楽しくしていることが分かるとともに、地域に親しみを持ち、人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活することができるようにする。

## 3 単元の評価規準

- 身近な地域の人々や様々な場所に関心を持ち、ルールやマナーを守り、安全に気を付けて見たり聞いたりしようとしている。 【生活への関心・意欲・態度】
- 行きたい場所や会ってみたい人を決め、相手や場に応じた適切な行動や安全な行動について考えながら、活動の計画を立てて町探検をするとともに、それを振り返って、素直に表現している。 【活動や体験についての思考・表現】
- 地域には様々な場所があり、多様な人々が働いたり生活したりしていることと、彼らが自分たちの生活を支えていることや楽しくしていることに気付いている。

【身近な環境や自分についての気付き】

## 4 単元について

## (1) 単元の価値

本単元は、学習指導要領の内容(3)地域と生活、(8)生活や出来事の交流を受けて構成されている。

この期の子どもたちは、学校や家庭を中心とした生活から友達や地域の人々、身の回りの環境等とのかかわりを通して、自分たちの地域へと生活を広げてきている。自分の住んでいる家の周辺では、友達と遊んだり、買い物をしたり、地域の行事等に参加したりして様々な人々や場所とかかわって生活するようになる。

そこで、本単元では、児童の生活の場の広がりをもとに、身近な地域に出かけることで、様々な人や場所との出会いをつくり、それらに心を寄せ、自分の生活とのかかわりを、更に広げたり深めたりすることができるようになることを期待している。

## (2) 子どもの実態と指導

本単元における子どもたちの実態を、日常の観察から次のように捉えた。

## ① 生活への関心・意欲・態度

本学級の子どもは、身近な地域への興味や関心を持ち、様々な場所での経験が増えてきている。しかし、地域の交通量の多さや不審者情報等により、行動範囲が自分の家の周りや通学路周辺であることが多い。そこで、交通ルールやマナーを含む、安全教育を充実することで、安心して地域へと出かけ、地域の人、場所、ものとかかわることができるようにする。

## ② 活動や体験についての思考・表現

本学級の子どもは、身近な公園で遊んだことや買い物に行ったことなどを、話したり日記に書いたりして、気付いたことを積極的に身近な友達や教師に伝えようとしている。そこで、気付いたことの根拠を明確に示しながら伝えられるような問い返しをしたり、聞き手が生かす「三つの問い」を活用して、聞き手が話し手に分かったことを確認したり、疑問に思ったことを質問したりできるようにする。

## ③ 身近な環境や自分についての気付き

本学級の子どもは、まだ地域での行動範囲が狭く、地域について知っていることは少ない。そこで、町探検に行き、地域の人、場所とかかわることで、私たちの生活は、町と深くかかわっていることに気付くことができるようにする。

5 指導計画（総時数10時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
である みつける	<p>1 町探検の計画を立て、準備をする。 【関：進んで探検の計画を立てたり、準備をしたりしようとしている。】</p> <p>友達と、安全に気を付けて探検に行くためのルールやマナーを話し合うことで、安心して町探検に行くことができるようにする。</p>	2
かかわる	<p>2 1回目の町探検をする。 【思：相手や場に応じた適切な行動や安全な行動について考えながら、安全に気を付け、友達と協力して探検活動をしている。】</p> <p>グループごとに町探検に出かけ、地域にあるものを調べたり、写真を撮影したりする中で、気付きを称賛したり、意味付け、価値付けの言葉を掛けることで、意欲的に活動できるようにする。</p>	2
	<p>3 1回目の町探検の報告会をし、2回目の探検への計画を立てる。 【思：探検で見付けたことを友達に分かりやすく表現している。】 【関：2回目の町探検に向けて、計画を立てたり、準備をしたりしようとしている。】</p> <p>気付いたことを、「見える図（コンセプトマップ）」にまとめることで、探検で見付けたことを「見える化」して伝えることができるようにする。また、1回目の町探検報告会を振り返り、2回目の町探検への新たな思いや願いがもてるようにする。</p>	2
	<p>4 2回目の町探検をする。 【思：地域の人へのインタビューの仕方を考えながら、友達と協力して探検活動をしている。】</p> <p>グループごとに町探検に出かけ、地域の人にインタビューしたり意欲的に活動したりする姿を称賛したり、意味付け、価値付けの言葉を掛けることで、更に意欲的に活動できるようにする。</p>	2
つたえあう つなげる	<p>5 2回目の町探検の報告会をする。 【思：探検で見付けたことを友達に分かりやすく表現している。】 【気：私たちの生活は、町と深くかかわっていることに気付くことができるようにする。】</p> <p>気付いたことを「見える図（コンセプトマップ）」にまとめることで、探検で見付けたことを「見える化」して伝えることができるようにする。また、探検を通して生まれた様々な気付きを関連付けて振り返ることで、田上の町への親しみがもてるようにする。</p>	2 (本時)

6 本 時（10／10）

(1) 目 標

探検したことを振り返り、出会った人や見付けた場所のことなどを友達と伝え合い、私たちの生活は、町と深くかかわっていることに気付くことができるようにする。

(2) 評価規準と評価の視点

私たちの生活は、町と深くかかわっていることに気付いている。

【身近な環境や自分自身についての気付き】

《評価の視点》

- 田上交番の警察官は、私たちが安全で、安心して暮らせるように町を守っているんだよ。
- 中園地区にある八百屋さんでは、お客さんのために新鮮でおいしい野菜を売っているよ。
- チューリップ公園は、キリン公園より広くてびっくりしたよ。今度遊びに行きたいな。

(3) 指導に当たって

これまでに子どもたちは、1回目の町探検で見付けた場所やもの、人とのかかわりを通して気付いたことを、田上の町マップにまとめてきている。そこで、町探検で気付いたことを友達と伝え合う活動を通して、自分がかかわった人や場所以外にも、様々な人がいることや、場所があることに気付き、私たちの生活は、町と深くかかわっていることに気付くことができるようにする。

「であう・みつける」活動では、前時に作った田上の町マップを振り返り、自分がかかわった人や場所以外にも、様々な人がいることや場所があることに気付き、友達と調べたことを伝え合おうとする意欲を高めるようにする。

「かかわる」活動では、まず、町探検のコースごとに、見付けた場所やもの、かかわった人を「見える図（コンセプトマップ）」にまとめることで、気付きを関連付けて広げていくことができるようにする。次に、協同的な「学び合い」を通して、友達と町探検で気付いたことを伝え合うことで、気付きの共有化を図ることができるようにする。

「つたえあう・つなげる」活動では、町探検を振り返り、田上の町について考えることで、私たちの生活は、町と深くかかわっていることに気付き、町への親しみをもつことができるようにする。

(4) 本時の展開  重点化するスキル [ ] 子どもの意識 ○指導の手立て ※評価

過程	時間	主な学習活動と指導の手立て	
であう・みつける	5	1 前時に作った田上の町マップを振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>田上交番に行って警察官にインタビューしたよ。</li> <li>友達は、どんな人と話したり見付けたりしたのかな。</li> </ul>	○ 前時に作った田上の町マップを振り返り、自分がかかわった場所や人以外にも、様々な人がいることや場所があることに気付き、友達と調べたことを伝え合おうとする意欲を高めるようにする。  ○ 町探検で気付いたことを、町探検のコースごとに人、場所、ものを視点に「見える図（コンセプトマップ）」に表現することで、気付きを関連付けて広げていくことができるようにする。  ※ 私たちの生活は、町と深くかかわっていることに気付いている。 (発表・「見える図」・観察)
		2 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">町たんけんて 気づいたことを ともだちと つたえあおう。</div>	
かかわる	30	3 町探検で気付いたことを、「見える図（コンセプトマップ）」に表現する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">関連付ける</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>警察官の仕事を教えてもらったよ。</li> <li>宅配便の仕事をしている人が大切にしていることを教えてもらったよ。</li> <li>前の探検で友達に教えてもらった古いポストをぼくも見付けたよ。</li> </ul>	○ 町探検で気付いたことを「見える図（コンセプトマップ）」に表したり、友達と進んで話し合ったりしている子どもには、称賛し、そのよさを意味付けたり価値付けたりする。 ○ 活動が進まない子どもには、一緒に探検に行った子どもと一緒に活動するよう助言したり、教師との対話を通して支援したりする。
		4 町探検で気付いたことを、友達と伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>警察官は、ぼくたちが安全で安心して暮らせるように見守っているんだね。</li> <li>宅配便は、荷物を大切に届けるためにいろいろな工夫があるんだよ。</li> <li>八百屋さんは、新鮮で安全な野菜や果物を売っているんだよ。</li> </ul>	
つたえあう・つなげる	10	5 町探検を振り返り、田上の町と私たちの生活について考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>田上の町には、郵便局や銀行、コンビニ、交番など、私たちの生活にかかわっている所がたくさんあるんだね。</li> <li>地域の人たちと、たくさん話して、田上の町のことがよく分かったよ。みんな私たちの生活とかかわっているんだね。</li> </ul>	○ 気付いたことの根拠を明確に示しながら伝えられるような問い返しをしたり、聞き手が生かす「三つの問い」を活用して、聞き手が話し手に分かったことを確認したり、疑問に思ったことを質問したりするよう助言することで、話し手の思いや考えを、より理解できるようにする。  ○ 本時の活動のよさを称賛したり、気付きの質を高めることができた子どもの姿を紹介したりすることで、次の活動への意欲化を図るようにする。
		6 本時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな人にインタビューすることができたよ。</li> <li>もっと田上の町について知りたいな。</li> </ul>	